IFML-PCI2 シリーズ

はじめにお読みください

M-MANU200430-01

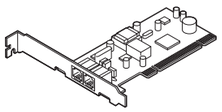
はじめに

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品のセットアップを始める前に本書をよくお読みいただいてからお使いいただきますようお願い申し上げます。

箱の中には

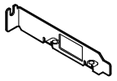
箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックを付けながらご確認ください。

□本製品（1 枚）

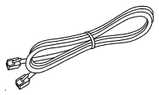


【IFML-PCI2R について】
「IFML-PCI2R」は RoHS 指令準拠モデルです。
基板上の定格ラベルおよび S/N 番号ラベルの型番はシリーズ名 (IFML-PCI2) となっております。

□ロープロファイル用金具（1 個）



□電話回線用モジュラーケーブル（1 本）



約 1.8m

☑はじめにお読みください（本紙）（1 枚）
□セットアップガイド（1 枚）
□サポートソフト CD-ROM（1 枚）
※本製品は通信ソフトウェアなどのアプリケーションは添付しておりません。別途ご用意ください。
□ハードウェア保証書（1 枚）

箱・梱包材について
●箱や梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

対応機種

本体	CPU が Pentium MMX 200MHz 以上で PCI バス (Rev.2.1) を搭載した DOS/V マシン
CD-ROM	サポートソフトのインストール時に必要
対応 OS	Windows Vista™(32 ビット版)、Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98(Second Edition 含む)、Windows NT4.0

本製品のご紹介

●高速 56000bps 受信を実現
アナログ通信では最高 56000bps で受信ができるデータ FAX モデムです。(送信は最高 33600bps)
また、自動速度認識機能により、発信時／着信時は相手の速度に合わせて通信することができます。(端末速度は最高 115200bps で通信できます。ただし、接続するパソコンのポートの性能によっては、115200bps 以下で設定してご利用いただく場合もあります。)

●ITU-T 標準勧告の V.90 プロトコルを採用
V.90 方式は、ITU-T において標準勧告の 56K のデータ通信プロトコルです。
(ご利用のプロバイダが V.90 に対応してるかどうか、事前にご確認ください。)

●14400bps G3 FAX モデム機能搭載
2400 ～ 14400bps の通信速度に対応し、EIA Class1 に対応。
お使いの FAX ソフトウェアを使用して、使い慣れた Windows アプリケーションで作成した文書や画像をパソコンから直接 FAX を送信したり、パソコンで直接 FAX を受信することができます。

●エラー訂正／データ圧縮機能搭載
MNP クラス 4 と ITU-T (旧 CCITT) の V.42 エラー訂正機能を搭載。回線状態が悪い場合でもエラーフリーの通信が行えます。
また、MNP クラス 5 と ITU-T V.42bis のデータ圧縮機能搭載のため、MNP クラス 5 では最大 200%、ITU-T V.42bis では最大 400% の実効通信速度が可能です。

●高性能データモデム機能
300 ～ 56000bps の通信速度に対応。
自動速度認識機能により、発信時／着信時は相手の速度に合わせて通信することができます。また、端末速度は最高 115200bps で通信できます。

・56000bps は、V.90 および K56flex の理論値であり、通信速度は回線状況により変化します。また、33600bps を超える通信速度は受信の場合で、送信の場合は最高 33600bps となります。
・設定回線速度［特に 50000bps 以上］より低い速度で接続する場合があります。
・56000bps 通信には、プロバイダ側が本製品が採用している V.90 もしくは K56flex 方式に対応している必要があります。
・PBX などの構内交換機の回線に接続して使用した場合も設定回線速度より低い速度で接続する場合があります。

●AT コマンド準拠
Hayes 社の AT コマンドを採用。市販の通信ソフトを利用できます。
AT コマンドに関しては、オンラインマニュアルの「その他」-「使用可能な AT コマンド」をご覧ください。

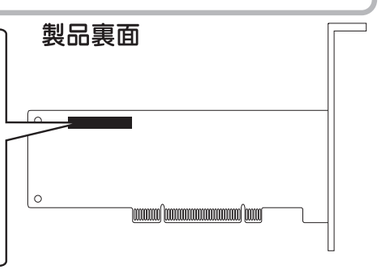
ユーザ登録しよう

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて
ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本製品の裏面に貼られているシールに「ABC09876547X」のように印字してあります。
●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

12 桁のシリアル番号が明記されています。こちらをメモしてください。

製品裏面



取り扱い上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、以下の注意を必ずお読みください。

1）以下の取り扱い時の注意事項を守ってお使いください。
●落雷の恐れがある場合は、本製品のご使用を中止し、モジュラーケーブルを電話回線から切り離してください。
●本製品のモジュラージャックには、指を入れないでください。感電の恐れがあります。

2）以下の使用時の注意事項を守ってお使いください。
●本製品は NTT の一般公衆回線に適合した電話回線用に設計されています。ボタン電話、ビジネスホン、キーテレホン、ホームテレホン、家庭用キーテレホン、PBX（構内交換機）に接続する場合は NTT の電話回線と電気的条件が異なる可能性があります。本製品をこれらの回線に直接接続すると故障の原因となります。接続する前に電話設置メーカーなどにご確認ください。
●本製品とキャッチホンサービスの併用はお避けください。
NTT のキャッチホンサービスをご利用の場合、キャッチホンの呼び出し音によってデータの正常な通信に支障をきたすことがあります。
●回線状況や NTT の交換機、宅内配線などにより、設定した回線速度［特に 50000bps 以上の場合］より低い速度で接続する場合があります。また、接続されても回線状況により、リトライが繰り返され、設定回線速度ほどの実効速度が得られない場合があります。
●PBX(構内交換機) の回線を利用している（内線（0 発信）などの）場合は、V.90 および K56flex の本来の性能がでません。設定回線速度より低い速度で接続します。また、PBX によっては NTT 公衆回線網とはかなり違いが生じているものもあり、この場合は V.90 および K56flex がご利用できません。
●V.90 および K56flex では、33600bps を超える通信速度は受信の場合のみで、送信の場合は最大 33600bps になります。
●V.90 および K56flex で通信するためには、接続先のプロバイダなどが対応している必要があります。プロバイダなどが x2 方式の場合は、最大 33600bps の通信になります。
●V.90 および K56flex 通信は電話回線の状況・品質に敏感です。モジュラーケーブルを設置するときは、次のことにご留意ください。
・パソコンのディスプレイやテレビ、スピーカーからなるべく遠ざける。
・AC アダプタの近くは避ける。
・なるべくケーブル長を短くする（数十メートル以上は使用しない）。
・1 本の電話回線を分配機や切替機などで二股に分けない。
●ご使用されるモジュラーケーブルを長くして使用する場合（中継コネクタを使用して延長される場合）、接続される速度が低くなる場合があります。
●本製品は日本国内でのみ使用可能です。海外では使用できません。
●スタンバイ、サスペンド、休止状態には対応しておりません。

3）本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

本製品の仕様

■NCU 部

適用回線	アナログ公衆回線
NCU	AA
制御コマンド	AT コマンド準拠
ダイヤル形式	パルス (10/20pps)、トーン
呼出方式	トーンリンガ

■ＦＡＸモデム部

通信方式	半二重
同期方式	調歩同期式（非同期）
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400/300bps
通信規格	ITU-T：V.17/V.29/V.27ter/V.21 channel2
変調方式	TCM、QAM、DPSK、FSK
通信制御手順	G3/EIA class 1

■データモデム部

通信方式		全二重
同期方式		調歩同期式（非同期）
通信速度	K56flex（受信のみ）	56000/54000/52000/50000/48000/46000/44000/42000/40000/38000/36000/34000/32000bps
	V.90（受信のみ）	56000/54666/53333/52000/50666/49333/48000/46666/45333/44000/42666/41333/40000/38666/37333/36000/34666/33333/32000/30666/29333/28000bps
	送受信	33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400/1200/300bps
通信規格		ITU-T：V.90/V.34/V.32bis/V.32/V.22bis/V.22/V.21 K56flex、Bell：212A/103
送信レベル		-10 ～ -15dBm
受信レベル		-37dBm 以上
エラー訂正機能		ITU-T：V.42 準拠 (MNP2-4、LAPM を含む)
データ圧縮機能		MNP：Class5 準拠、ITU-T：V.42bis 準拠

■一般仕様

端末 I/F	PCI バス (Rev.2.1)
DTE 速度	115.2kbps
供給電圧電源	+3.3V±5%、+5.0V±5%
消費電力	960mW(MAX)
外形寸法	120(W)×60(D)×21(H)mm(スロットカバーを除く)
使用温度範囲	0 ～ 40℃ (パソコンの動作温度範囲であること)
使用湿度範囲	20 ～ 80%（ただし、結露なきこと）
質量	約 70g （本体のみ）
認定番号	VCCI、JATE
認定番号	A02-0864JP

安全にお使いいただくために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示	
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● 絵記号の意味		
△	この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「発火注意」を表す絵表示
⃠	この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「分解禁止」を表す絵表示
●	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。	例 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 危険

分解禁止

本製品を分解したり、改造しないでください。
火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

⚠ 警告

厳守

本製品をお使いになる場合は、本製品を接続する機器やそれの周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順でお使いください。
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。本製品を接続する機器やそれの周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず別紙のセットアップガイドで取り付け、取り外しをご確認ください。
誤った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

水ぬれ禁止

本体を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を取り付けるときは、必ず別紙のセットアップガイドで接続方法をご確認になり、以下のことに注意しください。
- ●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- ●接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や火災の原因となります。
- ●ボート製品の場合は指定されたスロットに正しく装着してください。

⚠ 注意

注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
故障の原因になることがあります。
- ●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所
- ●静電気の影響の強い場所　●傾いた場所など不安定な場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- ●強い磁力・電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど）

≪使用時のみの制限≫
- ●保温、保湿性の高いものの近く
  （じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- ●閉めきった自動車など、高温になるところ
- ●風通しの悪いところやせまいところ

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
- ●落としたり、衝撃を加えたりしないでください。
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かないでください。
- ●重いものを上にのせないでください。
  バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。
- ●本製品に乗らないでください。倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- ●本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れないでください。

禁止

本製品のコネクター部分や部品面には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

禁止

本製品を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で本製品を扱わないでください。
感電や本製品の故障の原因となります。

禁止

本製品は、日本国内仕様です。
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守

ボード製品には裏面はハンダ付けの跡があり、とがっている場合があります。
誤って手などを怪我しないように、取り付け、取り外しの際は本製品の両側を持ってください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで受け付けています。

①弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらも参考になさってください。

●http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

●http://www.iodata.jp/lib/

②それでも解決できない場合は…

住所：〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目 84 番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：本社 **076-260-3644**　東京 **03-3254-1144**
※受付時間 9:00 ～ 17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：本社 **076-260-3360**　東京 **03-3254-9055**
インターネット：　**http://www.iodata.jp/support/**

お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。
1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
■保証期間中は、無料修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
■**必要事項を記入した**本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■以下の内容を書いたもの
●返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］
●日中にご連絡できるお電話番号
●ご使用環境（機器構成、OSなど）　●故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください
■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
■修理は以下の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、**宅配便か書留郵便小包**でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
● Windows Vista™は、Windows Vista™ Operating systemの略称として表記しています。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2007.5.30

Copyright (C) 2006-2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.